



## 大腸がんは早期に発見することが大切です!! ～定期的に便潜血検査をうけましょう～

PL病院では2019年4月1日～2020年3月31日の1年間に大腸内視鏡検査を1,779件実施し、そのうち85名(約4.8%)に大腸がんをみとめました。また、がんに移行する可能性のあるポリープは867名(約49%)にみとめました。大腸がんがみとめられた85名中38名は早期大腸がん、47名は進行大腸がんでした。

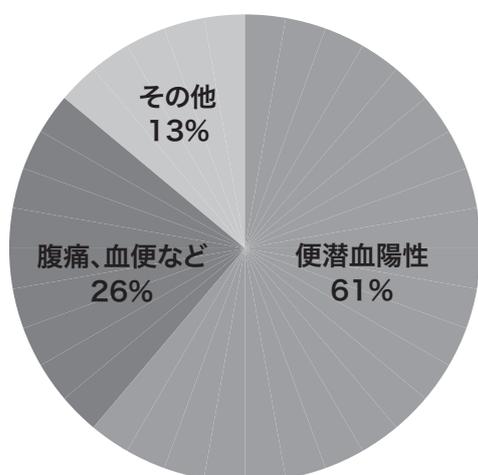
現在は医療技術の進歩もあり、がんは早期に発見できれば完治する病気です。38名の早期大腸がん患者さまのほとんどは外科手術や化学療法ではなく、身体に負担の少ない内視鏡治療で治癒されました。

38名の早期大腸がん患者さまの6割は、検診や人間ドックで受けた便潜血検査が陽性となったため、大腸内視鏡検査を受けています。血便や腹痛などの自覚症状はありませんでした。

一方、47名の進行大腸がんの患者さまの6割は腹痛や血便が出現し、内視鏡検査を受けています。この結果より、がんを早期に発見するためには、症状が出てからでは遅いということが分かります。人間ドックや検診で便潜血検査を1年に1回は受診いただくことをお勧めいたします。

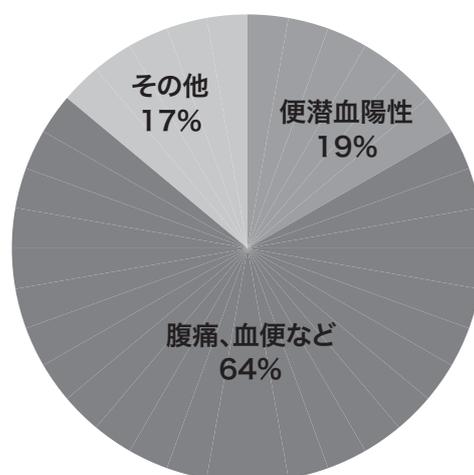
### 早期大腸がん38名の 大腸内視鏡検査受診動機

便潜血陽性	23名
腰痛、血便など	10名
その他	5名



### 進行大腸がん47名の 大腸内視鏡検査受診動機

便潜血陽性	9名
腰痛、血便など	38名
その他	8名



便潜血検査に関しては、健康管理科(0721-25-8234 直通)までお気軽にご相談ください。